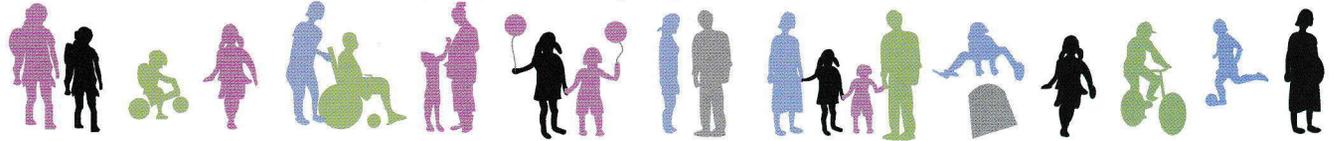


# 「こどもと社会デザイン～幸福論から考えるこどもの現在」

2014年12月6日(土)～7日(日) 会場：立教大学池袋キャンパス



## Program

12月6日(土) 4号館3階4339教室

年次大会講演会・パネルディスカッション

「こどものいる社会～こどもと大人がともに生きやすい社会へ」

第1部 基調講演 13:40～14:40



原ひろ子 Hiroko Hara  
城西国際大学客員教授

「多様な文化に生きるこどもたち」

お茶の水女子大学名誉教授。専門は文化人類学、ジェンダー研究。1960年代にカナダのヘアー・インディアンをフィールドワークし、その後ジェンダーの視点から子育てや女性の働き方などの研究を行う。著書「子どもの文化人類学」(晶文社1979)、共著「公正なグローバル・コミュニティを(ジェンダー社会科学の可能性第4巻)」(岩波書店2011)他

第2部 報告 14:40～16:35



湯澤直美 Naomi Yuzawa  
立教大学教授

「こどもの貧困問題が照射する日本の社会」

立教大学コミュニティ福祉学部教授。専門は社会福祉学。「家族」と「ジェンダー」の視角から、貧困問題とジェンダー、ドメスティック・バイオレンス等を研究テーマとしている。共著「対論 社会福祉学2 社会福祉政策」日本社会福祉学会編(中央法規出版2012)、「子どもの貧困—子ども時代の幸せ平等のために」(明石書店2008)他



井戸まさえ Masae Ido  
NPO 法人親子法改正研究会代表

「養子縁組と無戸籍のこどもたち」

元衆議院議員。民法772条に関する無戸籍児問題と取り組んでいる。東京女子大学卒業。(財)松下政経塾卒業。(株)東洋経済新報社勤務を経て経済ジャーナリスト。兵庫県議会議員2期、元民主党衆議院議員1期を勤める。共著「子どもの教養の育て方」(東洋経済新報社2012)他



西田陽光 Youkou Nishida  
一般社団法人次世代社会研究機構代表理事

「次世代政策の世論形成の取り組み」

政策シンクタンク「構想日本」元運営委員。現在は政策勉強会、地方議員向けセミナーなどを他団体との共同企画で開催。「特別養子縁組」の世論形成や「子育て支援」企画にも着手している。



境治 Osamu Sakai  
コピーライター

「赤ちゃんにやさしい国へ～メッセージで社会は変わる」

クリエイティブディレクター、メディア戦略家。東京大学文学部卒。広告代理店のコピーライターを経て、フリーランス。Facebookに「赤ちゃんにやさしい国へ」を立ち上げ、情報提供をしている。著書「赤ちゃんにきびしい国で、赤ちゃんが増えるはずがない。」(三輪舎2014)

第3部 パネルディスカッション 16:35～17:45



司会・コーディネーター

菊地栄 Sakae Kikuchi  
一般社団法人社会デザイン研究所特別研究員

12月7日(日) 7号館A棟1階7101教室

公開講演会・パネルディスカッション

「幸福論から考えるこどもの現在」

第1部 基調講演 13:40～14:40



広岡守穂 Morihiro Hirooka  
中央大学教授

「むきあうこと、ささえること～人口問題と少子化対策をこえて」

中央大学法学部教授。おもな専攻は日本政治思想史だが、現代日本の社会現象に幅広い関心を持ち、男女共同参画、NPO、子育てなどさまざまな分野で発言している。内閣府男女共同参画会議監視専門委員。著書「政治と自己実現」(中央大学出版部2012)、「男だって子育て」(岩波新書1990)、「『豊かさ』のパラドックス」(講談社現代新書1986)他。詩人、作詞家でもあり「詩集はじめて」(私家版)がある。

第2部 対論 14:40～15:30

「幸福論から考えるこどもの現在」

広岡守穂 Morihiro Hirooka  
中央大学教授

北山晴一 Seiichi Kitayama  
社会デザイン学会会長



大阪樟蔭女子大学教授、立教大学名誉教授。  
専門は社会デザイン学、社会学。

第3部 報告 15:45～17:00



長谷川まゆ帆 Mayuho Hasegawa  
東京大学大学院教授

「欧州近代におけるこどもの発見」

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部教授。専門は歴史人類学。著書「さしのべる手～近代産科医の誕生とその時代」(岩波書店2011)、「女と男と子どもの近代」(山川出版社2007)、「お産椅子への旅～ものと身体の歴史人類学」(岩波書店2004)他



石坂わたる Wataru Ishizaka  
東京都中野区議会議員

「同性カップルがこどもを持つこと」

中野区議会議員(無所属)。発達障害に関する養護学校教諭・教育センター職員等を経て現職。福祉のボランティア活動や、性の多様性の啓蒙に取り組み。ゲイであることを公表し区議会議員選挙に当選。同性パートナーと家庭を形成。共著「地方政治ドキュメントII 議会はあるを待っている」(市川慶校記念会女性と政治センター出版部2014)他



竹下秀子 Hideko Takeshita  
滋賀県立大学教授

「こどもは最良のエンリッチメント—霊長類の比較行動発達学から」

滋賀県立大学人間文化学部教授。専門は発達心理学・比較行動発達学。超音波診断装置を使用して人間とチンパンジーの胎児を観察するなど、母子コミュニケーションの比較発達研究に従事。著書「赤ちゃんの手とまなざし」(岩波書店2001)、「心とことばの初期発達」(東京大学出版会1999)、共著「(身体)に関する発達支援のユニバーサルデザイン」(金子書房2014)他

第4部 パネルディスカッション 17:00～18:00



司会

萩原なつ子 Natsuko Hagiwara  
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授